

様式第七

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の変更許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第 16 条第 1 項 第 35 条第 1 項 の規定により、変更の許可を申請します。 令和 □年 □月 □□日 静岡市長 □□ □□ 殿 申請者 氏名 株式会社シズオカシ 代表取締役社長 静岡 太郎		※手数料欄			
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	静岡県静岡市葵区追手町□□番地 株式会社シズオカシ (別紙参照)			
2	設計者住所氏名	静岡県静岡市清水区□□町□□番地 株式会社シミズ 代表取締役社長 清水 五郎 ○			
3	工事施行者住所氏名	静岡県静岡市駿河区□□町□□番地 株式会社スルガ 代表取締役社長 駿河 一郎			
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	静岡県静岡市葵区□□町□□番地、外□筆 (緯度：34.*** **、 経度：138.*** **)			
5	土地の面積	950 平方メートル			
6	工事着手前の土地利用状況	空き地 (宅地)			
7	工事完了後の土地利用	資材置場			
8	盛土のタイプ	平地盛土 ・ 腹付け盛土 ・ 谷埋め盛土			
9	土地の地形	溪流等への該当 有・ 無			
工 事 の 概 要	イ 盛土又は切土の高さ	6 メートル			
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	720 平方メートル			
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	1,800 立方メートル		
		切土	100 立方メートル		
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
		1	RC 構造	6 メートル	12 メートル
		2	間知石練積み造	2 メートル	15 メートル
	ホ 崖面崩壊防止施設	番号	種類	高さ	延長
		3	大型かご枠工	2 メートル	25 メートル
ヘ 排水施設	番号	種類	内法寸法	延長	
	4	コンクリート側溝	19センチメートル	25 メートル	

ト 崖面の保護の方法	擁壁及び大型かご枠の設置		
チ 崖面以外の地表面の保護の方法	のり面芝張		
リ 工事中の危害防止のための措置	例1) 工事区域外周に H=1.8m の侵入防止柵を設置 例2) 落石防止柵の設置		
ヌ その他の措置	雨水等の処理は釜場を設けポンプアップにて下水に流す		
ル 工事着手予定年月日	令和 □年 □月 □□日		
ヲ 工事完了予定年月日	令和 □年 □月 □□日		
ワ 工程の概要	別紙工程表のとおり		
11 その他必要な事項	<input type="checkbox"/> 条例に係る手続き中 (<input type="checkbox"/> 年□月頃許可取得予定)		
12 変更の理由	資源保管スペース拡張のため、擁壁位置を変更し盛土面積を増加		
13 許可番号	第 □□□□ 号		
※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
年 月 日			年 月 日
第 号			第 号
係員氏名			係員氏名
<p>〔注意〕</p> <p>1 ※印のある欄は記入しないでください。</p> <p>2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。</p> <p>3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。</p> <p>4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。</p> <p>5 3欄は、未定の場合は、後で定まってから工事着手前に届け出てください。</p> <p>6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。</p> <p>7 8欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。</p> <p>8 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。</p> <p>9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。</p>			